

「見守りが必要な高齢者の暮らしぶりの伝わるシート」の活用（案）について

H28.6.1

◇今後の課題◇（本当の意味で「使えるシート」にしていくための課題）

今後の活用の際しての課題 (H27年第3回資料より)	提案内容
<p>(1) 見守りが必要な高齢者本人の同意について、どう考えるか。</p> <p>(2) シートを送付後、その次のあり方をどう考えるか。</p> <p>(3) 支援者の個人情報をシートに記載することをどう考えるか。</p>	<p>(1) 基本、同意は必要と考える</p> <p>(2) シートの目的 「遠い親族に日常を知らせたい」という、ふだん見守りを行う民生委員さんの負担の軽減を図るために使用する</p> <p>① ご本人の様子を伝える ② 見守り事務局の問い合わせ先を伝える</p> <p>(3) 情報源が特定される吹き出しはやめて、総合的に近況を報告する欄を設ける。(不安要素も書きやすくなる) →支援者の個人情報は手紙では伝えない</p>

◇本シートの具体的活用方法◇

対象者（案）

- (1) 本人が手紙を出すことに同意して見える方
- (2) 緊急連絡先が分かる方
- (3) シートを活用したい主旨がある方（ある程度心配なこと等近況がわかっている方）

上記の条件を満たす「ゆるやかな見守り」の方に対して、「見守り確認リスト（案）」（別紙）を記載していただいた方に区役所が窓口となって作成・連絡のつなぎ役となる。

◇今後の流れ◇

民生委員会長に会長会后報告会を行い、部会の取組結果として報告。
活用を必須とするのではなく、上記目的でできた一つのツールとして紹介していく。